

専任教員の実務経験

氏名	資格・実務経験	教育科目	
藤本 英明	理学療法士 病院における臨床5年以上 週1回学外臨床参加 日本理学療法士協会 会員	基礎理学療法学 解剖学Ⅱ 運動学 理学療法研究法 臨床評価学	運動療法学Ⅱ 物理療法学 評価実習 臨床実習
神田 勝利	理学療法士 病院における臨床5年以上 週1回学外臨床参加 日本理学療法士協会 会員	運動学 基礎理学療法学 理学療法研究法 臨床運動学 臨床評価学	運動療法学Ⅰ 運動療法学Ⅱ 疾患別理学療法学Ⅰ 評価実習 臨床実習
東海林 麻里子	理学療法士 病院における臨床5年以上 週1回学外臨床参加 日本理学療法士協会 会員	運動学 基礎理学療法学 理学療法研究法 検査測定論Ⅱ 検査測定論Ⅲ 臨床評価学	運動療法学Ⅰ 運動療法学Ⅱ 疾患別理学療法学Ⅰ 評価実習 臨床実習
高江 陽子	理学療法士 病院における臨床5年以上 週1回学外臨床参加 日本理学療法士協会 会員	基礎理学療法学 理学療法研究法 臨床評価学 運動療法学Ⅱ 日常生活活動学	疾患別理学療法学Ⅴ 生活環境学 評価実習 臨床実習
佐々木 聡	理学療法士 病院における臨床5年以上 週1回学外臨床参加 日本理学療法士協会 会員	基礎理学療法学 理学療法研究法 臨床評価学 義肢装具学	リハビリテーション関連機器 評価実習 臨床実習
白元 勇次郎	理学療法士 病院における臨床5年以上 週1回学外臨床参加 日本理学療法士協会 会員	基礎理学療法学 理学療法研究法 理学療法評価概論 検査測定論Ⅰ	臨床評価学 疾患別理学療法学Ⅲ 評価実習 臨床実習

授業科目及び単位・授業時数

専門課程(医療分野)

理学療法学科								
分野・区分	科目		規定 単位	計画 単位(時間)	1学年	2学年	3学年	実務
					単位(時間)	単位(時間)	単位(時間)	
基礎 分野	科学的思考の基盤 人間と生活	人文科学	心理学	14	2 (30)	2 (30)		
			倫理学		2 (30)	2 (30)		
		社会科学	教育学		2 (30)	2 (30)		
			法学		2 (30)	2 (30)		
		自然科学	物理学		2 (30)	2 (30)		
			生物学		2 (30)	2 (30)		
			統計学		2 (30)	2 (30)		
		情報科学	2 (30)		2 (30)			
		外国語	2 (30)		2 (30)			
		保健体育	2 (60)		2 (60)			
小計			14	20 (330)	20 (330)			
専門 基礎 分野	人体の構造と機能 及び心身の発達	解剖学	解剖学Ⅰ	12	2 (60)	2(60)		
			解剖学Ⅱ		2 (60)	2(60)		○
		生理学	生理学Ⅰ		2 (60)	2(60)		
			生理学Ⅱ		2 (60)	2(60)		
		運動学			4 (120)	4(120)		○
		人間発達学			2 (30)	2(30)		
	疾病と障害の成り立ち 及び 回復過程の促進	臨床心理学		12	2 (30)	2(30)		
		病理学概論			2 (30)	2(30)		
		内科学			2 (60)	2(60)		
		整形外科			2 (60)	2(60)	2(60)	
		神経内科学			2 (60)	2(60)		
		精神医学			2 (60)	2(60)		○
		小児科学			2 (30)	2(30)		○
	保健医療福祉と リハビリテーションの理念	薬剤学		2	2 (30)	2(30)		○
		地域保健福祉論			2 (30)	2(30)		○
		看護学概論			2 (30)	2(30)		○
		医学概論			2 (30)	2(30)		○
小計			26	36 (840)	30(720)	6 (120)	○	
専門 分野	基礎理学療法学	基礎理学療法学		6	2 (30)	2(30)		○
		理学療法研究法			3 (60)	3(60)		○
		臨床運動学			3 (60)	3(60)		○
	理学療法評価学	理学療法評価概論		5	2 (30)	2(30)		○
		検査測定論Ⅰ			2 (60)	2(60)		○
		検査測定論Ⅱ			1 (30)	1(30)		○
		検査測定論Ⅲ			1 (30)	1(30)		○
		臨床評価学			3 (120)	3(120)		○
		運動療法学Ⅰ			20	3 (60)	3(60)	
	運動療法学Ⅱ		3 (60)	3(60)			○	
	物理療法学		3 (60)	3(60)			○	
	義肢装具学		3 (60)	3(60)			○	
	日常生活活動学		3 (60)	3(60)			○	
	疾患別理学療法学Ⅰ		1 (30)	1(30)			○	
	疾患別理学療法学Ⅱ		1 (30)	1(30)				
	疾患別理学療法学Ⅲ		1 (30)	1(30)			○	
	疾患別理学療法学Ⅳ		1 (30)	1(30)				
	疾患別理学療法学Ⅴ		1 (30)	1(30)			○	
	疾患別理学療法学Ⅵ		1 (60)	1(60)				
	地域理学療法学	生活環境学		4		2 (30)	2(30)	
		リハビリテーション関連機器			2 (30)	2(30)		○
	臨床実習	評価実習		18	3 (135)	3(135)		○
		臨床実習			18 (810)		18(810)	○
	小計			53	63 (1935)	6 (120)	39(1005)	18 (810)
	合計			93	119 (3105)	56 (1170)	45(1125)	18 (810)

【授業概要】

病院や施設にて臨床実習を行う。

【到達目標】

臨床実習教育者の指導・監督の下で、評価実習の内容に加え、対象者の障害像の把握、治療目標および治療計画の立案、治療実践ならびに治療効果判定について学ぶ。実際に数名の症例を担当して、様々な疾患・状態の対象者を数多く経験し、経過の観察を通じて理学療法の効果学ぶ。また、診療録等への記載方法やカンファレンスへの参加など、様々な理学療法業務についても理解を深める。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
	I 期実習前オリエンテーション 誓約書記載 実習前面談、自己目標設定、PCウイルスチェック 実習前学習及び実技演習 実習前評価	専任教員
	総合臨床実習 I 病院及び施設での実習内容 ①理学療法評価の実施、評価結果および治療計画説明の実施、理学療法治療の実施 ②必要に応じ中間の時期に理学療法プロセスの検証を行い新たな方針の決定ができる。 ③適切な時期に最終評価を行い、初期評価からの変化に焦点を当てた症例報告書の作成を行うことができる。	臨床実習指導者 専任教員
	I 期実習後オリエンテーション 実習後面談、振り返り 課題作成と提出 症例発表 実習後学習及び実技演習 実習後評価 症例デモンストレーション	専任教員
	II 期実習前オリエンテーション 誓約書記載 実習前面談、自己目標設定、PCウイルスチェック 実習前学習及び実技演習 実習前評価	専任教員
	総合臨床実習 II 病院及び施設での実習 ①理学療法評価の実施、評価結果および治療計画説明の実施、理学療法治療の実施 ②必要に応じ中間の時期に理学療法プロセスの検証を行い新たな方針の決定ができる。 ③適切な時期に最終評価を行い、初期評価からの変化に焦点を当てた症例報告書の作成を行うことができる。	臨床実習指導者 専任教員
	II 期実習後オリエンテーション 実習後面談、振り返り 課題作成と提出 症例発表 実習後学習及び実技演習 実習後評価 症例デモンストレーション	専任教員

【授業外学修】 予習:実習前・実習中に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと(約1時間)。
復習:実習内容を整理し、理解する振り返りを行うこと(約1時間)。

【教科書名】

【参考図書】

【評価基準】 実習成績40% 症例発表30% 実習課題30%

【実務経験】 理学療法士、病院における臨床5年以上、週1回学外臨床参加